



逍遙画賛 **「双柿舎の図」** (昭和3年)

市民ミュージアム

坪内逍遙

(1859~1935)

坪内逍遙は、晩年を熱海の双柿舎（別荘）で過ごしました。別荘の庭には、樹齢200年を越す柿の木が2本あり、それを見て双柿舎と名付けました。